

原子力の研究、開発及び利用関係分野に関する見積もり及び配分計画を取りまとめるに当たっての基本的進め方について

平成16年3月30日

1. 基本姿勢

原子力委員会は、原子力の研究、開発及び利用に関する国の施策を計画的に遂行するため、我が国が採るべき原子力研究開発利用の基本方針及び推進方策を定めた「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」(「長期計画」)を策定するとともに、関係行政機関の原子力研究開発利用に関する経費の見積もり及び配分計画について審議し、決定している。

原子力研究開発利用に関する経費の見積もり及び配分計画については、長期計画に則っているかどうか、それらの具体化に向けた取組がなされているかどうか、昨今の厳しい財政事情の下で重点化・合理化・効率化が図られているかどうかについて評価しつつ取りまとめていくことが重要である。

そこで、原子力委員会では、最新の知見と情勢を踏まえて、次年度において原子力分野において特に重点的に推進すべき事項等を「重点化の方向性(仮称)」を示すことによって明らかにするとともに、その方向性をもとに、原子力分野における資源配分の方針を示した「原子力関係経費の見積もりにあたっての基本的考え方(仮称)」を取りまとめる。

その後、概算要求に際しての基本方針や政策等について「原子力関係経費の見積もりにあたっての基本的考え方(仮称)」との関係、長期計画との関係等についてのヒアリングを各省より概算要求前に実施するとともに、概算要求後に各省より概算要求についてのヒアリングを実施し、「原子力関係経費の見積もりについて」を取りまとめ、決定する。また、政府予算案についてのヒアリングを実施し、「原子力研究、開発及び利用に関する計画」を取りまとめ、決定する。

2. 具体的とりくみ

1. 次年度において特に重点的に推進すべき事項等について「重点化の方向性(仮称)」を作成し、原子力委員会で議論の上取りまとめる。(4月初旬)
2. 「重点化の方向性(仮称)」を基に、各省における次年度予算に向けての方向性(各省における重点事項、重点化の方向性(仮称))に対する考え等を踏まえつつ、資源配分の方針を示した「原子力関係経費の見積もりにあたっての基本的考え方(仮称)」を作成し、原子力委員会で議論の上取りまとめる。(5月下旬)

- 3 .概算要求に向けた基本方針や政策等について各省からヒアリング(「政策ヒアリング」)を実施する。その際、施策内容とともに「原子力関係経費の見積もりにあたっての基本的考え方(仮称)」との関係、原子力長期計画との関係、期待される成果・これまでの成果、事前評価(新規)、中間評価(継続)の結果等について記載された説明資料をもとにヒアリングを実施する。(7月～8月上旬)
- 4 .各省の概算要求(8月末)後、概算要求を行った施策の内容等についてヒアリング(「概算要求ヒアリング」)を実施し、「原子力関係経費の見積もりについて」を作成し、原子力委員会で議論の上決定する。(10月頃)
- 5 .政府予算案閣議決定後、政府予算案の施策の内容等についてヒアリング(「政府予算ヒアリング」)を実施し、「原子力研究、開発及び利用に関する計画」を作成し、原子力委員会で議論の上決定する(3月下旬)。